



みなみいず 町議会だより

No. 22号

2005年
平成17.7.25

発行/南伊豆町議会 編集/議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2 TEL0558(62)6240



子ども会球技大会 (平成17年6月18日)

主な内容	6月定例会・第5回臨時会	2～3
	一般質問	4～7
	一口メモ・議会の動き・くろ潮	8

南伊豆町長選挙

前町長の辞職に伴う南伊豆町長選挙が、5月15日執行され、前議員の鈴木史鶴哉氏が町長に当選しました。選挙結果は以下のとおりです。

当 鈴木史鶴哉 3,489票
稲葉勝男 3,426票

鈴木史鶴哉氏の立候補(自動的に議員失職)に伴い、議会は1名欠員となりました。

平成17年6月定例会

平成17年6月定例会は、6月8日に開かれました。
今定例会は、5月15日に執行された南伊豆町長選挙後初めての定例会で、鈴木史鶴哉町長の所信表明演説一般会計補正予算の他、意見書・決議を含めた議案計12件が上程され、全議案とも原案どおり可決(認定・同意)されました。

補正予算の概要

(単位:千円)

会計区分	補正額	補正後総額
一般会計補正予算(第3号)	18,868	4,272,379

条例・規約の制定

条例

南伊豆町廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例制定

南伊豆町議会議員の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

南伊豆町特別職の職員で非常勤の者の報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

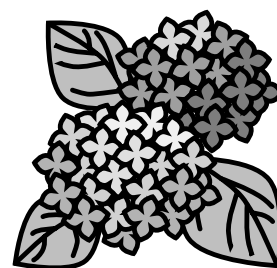
南伊豆郷土館設置および管理条例の一部を改正する条例制定について

南伊豆町非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例制定について

静岡県市町村非常勤職員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少および同組合規約の一部を変更する規約制定について

同意

静岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少および同組合規約の一部を変更する規約制定について
人権擁護委員の候補者の推薦について
南伊豆町石井三五六
高野晃一さん



意見書

「義務教育国庫負担制度」の堅持を求める意見書

義務教育は、子どもたちが社会の一員として必要な基礎的資質を培うものであり、住んでいる地域に関係なく、ひとしく提供されなければならない。教育の機会均等は憲法・教育基本法の要請であり、義務教育におけるナショナルミニマムの水準確保は国の重要な責務である。義務教育費国庫負担制度は、それを保障するための教育の根幹として、重要な役割を担っている。義務教育費国庫負担金が見直しの対象として、義務教育費国庫負担金が取り沙汰されている。義務教育費国庫負担金が税源移譲を伴う一般財源化となつた場合、多くの自治体では、税源の偏在性から財源を確保することができず、教育条件に地方格差が生じることは明白

意見書提出先

内閣総理大臣 小泉純一郎
財務大臣 谷垣禎一
総務大臣 麻生太郎
文部科学大臣 中山成彬
経済財政政策 担当大臣 竹中平蔵
高齢者の事故防止に関する決議

急速な高齢者社会の進展に伴い、高齢者の安全対策が急務となつてきているが、特に交通事故防止については、様々な対策を積極的に行つることが必要である。

収入役辞職

六月定例会審議終了後、確井大昭収入役から「近年財政事情から収入役を置かない自治体が増え、郡下でも流れになつている。」との理由で、辞職の申し出がありました。

第五回臨時議会

平成十七年第五回臨時議会が、六月二十三日に開かれました。

臨時議会には、助役選任議案と、収入役廃止に伴う、助役の収入役事務兼掌条例制定が上程され同意・可決されました。

新助役(収入役兼務)は、南伊豆町上賀茂 小針弘氏です。

まちづくり特別委員会報告

検討経過

まちづくりの仕組み
まちづくりの原則など骨子を確認。議会だより・お知らせ版で全戸配布。今後条例化の課題を検討。

地域産業振興について
●石廊崎ジャングルパーク
駐車場
平成十七年四月十三日、

株岩崎産業とまちづくり特別委員会懇談。駐車場を四月下旬に開放。駐車場隣接を含む二ヶ所のトイレの開放・管理については、新当局と株岩崎産業が今後相談のうえ決める。

ジャングルパーク跡地活用を引き続き検討。
●旧厚生省薬用植物栽培試験場跡地活用
現在営業を行っている直売所「湯の花」を中心に、全体計画の検討を進める。

●一般質問

町長に聞きました



漆田 修 議員

一、三小の政治信条について

質問 さきの町長選挙で掲げた信条の三つの諸施策の具体化は如何か？

町長 先ず 町民参画 は各界各層、各所、老若男女、さまざま業種の考え方を聞き町政に反映すること。協調と融和 はお互いに和をもって譲り合う協力や将来に向かつて希望のもてる明るい町づくりで、憎しみの争いはしたくない。簡素で効率的な行政運営 は行政需要の増大に伴い、町の



諸条件を考えると難しい面もあるが国庫補助金の積極的な量の獲得、起債事業計画の見直し、再検討、町税徴収率の向上など財源確保の推進を、一方歳出面では徹底した経費削減と財政の効率化を図っていききたい。

二、議会改革案との関係

質問 信条の中、行財政の効率化とときに議会提案の改革(行財政改革特別委員会)案のとらえ方と町長の見解は如何か？

町長 かつて私も委員であった、運営各般にわたり検討を加え反映出来るよう努めたい。時代進展に伴う行政対応の変化に応じ、既存の機構・定員、既定経費等の検討や整理など、精査しながら推進したい。課統廃合の検討、職員の削減、人材育成委員会・審議会・協議会等の見直しなど、又情報公開はIT技術の利用やCATVなど利用し、町政の透明性を高めていききたい。

三、学校統廃合について

質問 私は慎重論の立場にある。さきの町行政改革委員会は三月定例会施政方針で統廃合も含め議論するとの位置づけた。これは前町長の方針だが基本的な考え方を聞きたい。

町長 少子化による生徒数の割に教育施設数が多い状況で指摘された経緯がある。依存財源に頼る当町は経常経費削減は命題だ、其の背景をうけ改めて教育委員長に適正規模・統合の審議をお願いしたい。

教育長 財政状況もさることながら、教育条件の現状が問題で五小・二中体制での課題を真摯に検討する必要がある、本年度学校統合審議会を立ち上げ、六月十三日に第一回の会合を持つ予定だ。委員は旧六村代表の六名、PTA代表七名、学職経験者四名、小中学校代表二名合計十九名で進める予定である。

質問者 答弁の中、始めに統廃合ありきでなく検討する機関であるとのことでした。町内には財政論で終始することへの危惧感を持つ方は多く実在し、行政事務の公益性・福祉性のより高い教育が近年流行りの「新公共性管理手法」で財政論のみで論ぜられて良いのか、という意見がある。六十二年の臨調答申以降、一昨年の中教審答申迄教育行政は180度の転換をしている。当町の抱える複式学級(三小)学校)問題解消が審議会の争点になるが、異なった土俵感を持った人間も含めた活発な議論を願いたい。

少人数学級と複式学級の問題は密接に関連が有り、総額裁量制と義務標準法の基礎定数制、加配定数制という三つの制度により教育機会の均等化・教育環境の公平化に寄与せしめている。仮に三小に統合されると逆に教育支援費の増大を招く事になる。重ねて慎重な議論をお願いする。

推進に向けて検討しているところだ。

質問 産業振興について、具体的な私案がありましたら答弁を願いたい。

町長 当町の恵まれた資源、自然を生かしながら進めたい。また旧厚生省の跡地利用は、検討委員会や議会まちづくり特別委員会と関係団体の意見を伺い、有効的な方策の検討を進めたい。

質問 産業の活性化なくしてまちづくりはあり得ないと考えるが、観光立町南伊豆を唱えるのであれば、その名に恥じないビジョンを定めて頂きたい。それには町全体でものを捉えることが大切であり、町内経済を数パーセントでも向上させる施策の構築を期待する。



健康福祉課長 共働き夫婦の子育て支援は、色々な支援策を行っており、昨年度は次世代育成行動計画をつくり子育て支援に對する具体的な計画を立てています。そして平成19年度から学童保育施策を展開したく、



質問 次代を担う人づくりを進めるのに、少子化対策は避けることのできない重要な課題である。安心して子供を育てることのできる環境づくりの整備が必要と感じるが、その環境整備の中で、親の共働きに對する支援策はどのようなことが考案されているのか？

町長 非常に厳しい財政事情のもと、行政の課題が山積しているが、なお一層の



保坂好明 議員

町長の政治信条について

質問 町長は政治信条について町民参加を掲げているが、その前提に情報の共有があり、それではなければ物事を進める上で議会はもとより町民のコンセンサスを受けられることはできない。情報公開も含めて、どのようなプロセスで情報の共有並びに町民参加を促すのか？



互いに共有・公開しながら進めていきたい。

町長 その手法として広報みなみいずとお知らせ版があり、今の時代はインターネットによる情報の公開を進めたい。先般テレビの地上デジタル放送が開始され、テレビの町内放送ということも考えたい。そして公平性・守秘義務には十分な配慮をし、政策や計画等をお

質問 町民参加の中に、ボランティア活動の位置づけがある。その活動実態を把握する必要があるが、既にその活動自体が観光拠点的に発展しているものまである。今後は行政と協働で行わなければならないと思うが、これらの活動サポートを今後どう考えるか？

質問 簡素で効率的な行政運営については、この町が直面する課題・対策を進めるのに、益々高度な行政の質が求められ、専門職員や施設の配置も検討しなければならぬ。そして、ただ単に国や県に頼るだけの時代ではないことは明白であり、改革の具体的な目標とねらい並びに構想と手順を明確にして、着実に実行する体制を打ち出して頂く決意を求めたいが？



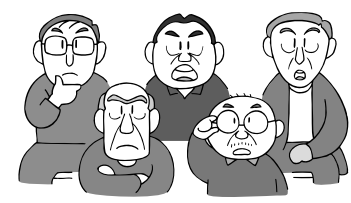
町長 町内で様々な活動がなされており、まずは実態の把握をしたい。そして行政としてできる限りの関わり合いを持ち、共にその活動を育て協力して参りたい。



横嶋隆二 議員

自律のまちづくりの取り組み

質問 町長は町民参加の町政を進めるといいますが、この間、企画立案、執行が、町民に十分に伝わらないまま、行政機構によって物事が進められてきた。傍聴者を除き多くの町民にとって、議会は、閉ざされた場所。議会の実態行政執行の過程が、ほとんどなかった。



町長 問題により守秘義務・公平性の課題があり、すべてとはいかないが、町民が可能な限り参加できるプロセスは可能にしたい。

質問 議会のCATV(ケーブルテレビ)放送はお茶の間で議会、行政の実態、地元の実情がよくわかる。合併問題でも、町民は、議会・行政の一挙手一投足まで知りたいと思っていた。課題はあるが、広域連携実例もあり対応を求めたい。

町長 難しい課題だと思っ

迎えて、これから取り組まない取り残されていくと思う。国等の補助制度を調査し取り組んでいく。

質問 町財政の認識・行政運営の取り組みは。

町長 引き続き厳しい財政状況で財源の確保は大変厳しい。決算の現在の見込みは、歳入が四十八億二百万円、前年比九億五千万円の減。歳出が四十五億七千九百万円、前年比九億二百万円の減。約一億六千三百万円は、平成十七年度予算への繰越金の見込み。財政調整基金からの繰入金は予算額は三億七千万円を予定したが二千万円の繰入れの見込み。

平成十六年度末の財政調整基金の残高は約四億二千五百万円。平成十六年最終予算時残高見込みが一億八千九百万円なので二億三千六百万円増という規模になる。ほぼ前年並みに基金を残せたのも、ひとえに町議会行財政改革特別委員会の改革に対するご提言及び町行政改革推進本部の検討項目

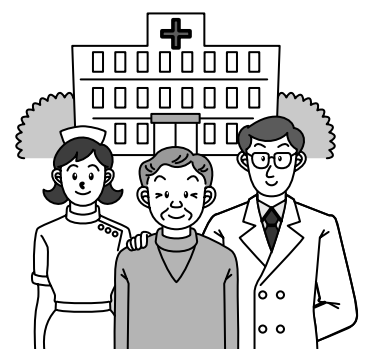
目を年度中途から反映させた結果のあらわれと考えている。自律と自己責任の視点に立ち行政運営に取り組み、改革を推進する。本年度を実質的な行政改革元年と位置づけ、行政と町民の役割を明確にし、協働による町民参加のまちづくりを推進する。



共立湊病院の充実

質問 共立湊病院のコンサルト報告が出たが、南伊豆町長としての認識は。

町長 共立湊病院は、何と云っても、伊豆南部の唯一の公的病院で中核をなす。現在地において診療の効率化、二次救急医療の強化を



町長 平成十六年度以降は経常損失が予想される。来年四月の契約改定は、管理委託契約の抜本的な見直しを前提に、共立湊病院組合運営協議会に圍り地域医療振興協会と交渉をする。

圍り、圏域住民に信頼される病院を目指す。

質問 明快な答弁をいたさない限り。私も現在地での充実に取り組む。

南伊豆町が過疎地域指定されていることが重要なポイント。これは建替えて構成都市町村財政にも寄与する。組合は、平成十六年度当初から赤字予算を組まざるを得ない状態。現在地での病院の改築構想を考へても、委託契約について抜本的な取り組みが求められると思うが。



清水清一 議員

町民参加のまちづくり

質問 地域コミュニティ、ボランティア活動の活性化を支援して町民参加を促すのか。情報を皆様にお知らせするののか。

町長 気軽に町民が参加できるような体制づくり、行政からの呼びかけだけではなく、各サークル、地域、町民からの呼びかけに応じた行政の参加を求めるといふことだろつと思います。

質問 懇談会等は、町民参加、情報の共有にもなりま

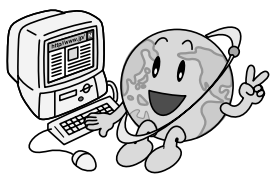
質問 紙代、インク代がふ



質問 紙代、インク代がふえるということだけで、さら、せつと思えばできる。前議会、インターネットホームページを各課で毎週更新してくださいと言いました。更新してあるように見えなかった。職員は、

勤務時間中にコンピュータの研修を受けて覚えたのだからやらなければいけない。高速通信の時代、64、67局は、ADSL回線は使用できない。国は、高速インターネット時代に入りま

質問 インターネットのテレビ版で議会放送することだつてできるわけで、町内はITを使えるよ。若い人も山間部にも住んでもらいたいし、空き家対策にもつながってくる。それが南伊豆の発展につながるかと考えます。



希望が持てるまちづくり

質問 災害時、携帯電話も町内、山間部に使えないところが多い。私もKDDIに昨年、お願いをしてきました。

町長 今後なるべく解消できるように取り組みます。

質問 町の埋もれた魅力を、産業振興のために発掘して

産業観光課長 課題で、観光協会でも、観光資源活用プロジェクト、商工会は地域資源調査事業、こついつたプロジェクトに積極的に参加、支援をしていきたい



質問 荒廃した山林の樹木の生い茂りによる、国道、町道の被害。日が当たらない家。日が当たらない農地。山林の対策は。

町長 道路パトロール、住民からの通報等、現状把握を行つております。住宅も山林所有者との話し合いの上、安全対策を講じていかなければならない。

質問 山林も管理する義務があるわけで、年一回固定資産納税通知書の中に管理するよつという文書を入れたらどうかと考える。

議会の動き

南伊豆町議会の動き・平成17年5～7月

- 5月17日 町長就任式
- 5月18日 南伊豆町商工会青年部通常総会及び懇親会
- 5月20日 静岡県町村議会議長会理事会
- 5月21日 第66回黒船祭の記念式典
- 5月23日 南伊豆町商工会通常総会
国保運営協議会
- 5月24日～25日 全国議長研修会
- 5月26日 第4回臨時町議会・全員協議会
- 5月27日 南伊豆町観光協会通常総会
下賀茂温泉旅館協同組合通常総会
賀茂郡町議会議長会
南伊豆町社会福祉協議会評議会
- 5月30日 静岡県地方議会連絡協議会定期大会
例月出納監査
- 5月31日 議会運営委員会

- 6月1日 分権改革日本実現大会
- 6月3日 第1回図書館協議会
- 6月5日 静岡県消防協会賀茂支部査閲大会
- 6月6日 「鈴与及び県土木部への要望活動について
- 6月9日 まちづくり特別委員会
- 6月10日 県庁挨拶
- 6月14日 システムズ(風力発電)来庁
平成17年度南伊豆町自衛隊協力会総会
- 6月15日 水道事業会計決算監査
南伊豆町老人クラブ連合会輪投げ大会
- 6月16日 下田警察署管内防犯協会総会
- 6月17日 水道事業会計決算監査
- 6月23日 第5回臨時町議会
例月出納監査
- 6月24日 例月出納監査
- 6月27日 議会だより
- 6月28日 『医療法人社団辰五会南伊豆地域生活支援センターふれあい竣工式
まちづくり特別委員会

- 7月4日 伊豆縦貫自動車道建設推進期成同盟会総会
- 7月5日 平成17年度南国伊豆横断道路整備促進期成同盟会総会
平成17年度伊豆スカイライン完結促進期成同盟会総会
- 7月6日 静岡空港建設促進協議会総会
- 7月8日 東伊豆道路建設促進期成同盟会総会
- 7月11日 伊豆東海岸鉄道整備促進協議会総会
- 7月14日 例月出納監査
- 7月20日 平成17年度町村監査委員研修会
- 7月21日 伊豆斎場組合7月定例議会
一部事務組に係る決算監査
- 7月23日 東京大学下賀茂寮夏期特別開寮式典

皆さまの声をお待ちしております

皆さまから届けられました貴重な意見・提案等は、「いでゆ」のコーナーに記載させていただきます。

〒415-0392
静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328 2

南伊豆町議会事務局内 広報編集委員会

TEL・FAX 6 2 6 2 4 0

議会一口メモ

議員の定数

議会の議員の定数は条例で定めている。町村に於ては人口規模に応じて、この数を超えない範囲内で数を定めている。

- 人口二千未満の町村
…………… 十二人
- 人口二千～五千未満
…………… 十四人
- 人口五千～一万未満
…………… 十八人

- 人口一万～二万未満
…………… 二十一人
- 人口二万～五万未満
…………… 二十六人

南伊豆町は、三月議会で定数を十一名と改正する条例を定めた。「議会は民主主義の根幹をなす場であり、町の重要な意思、進路と運営の基本を決定し、広く住民の意向を反映させることを基本理念しなければならぬ。そのためには、その機能が十分発揮できる定数を確保すべきである。」(議員必携より)

お悔やみ申し上げます

鈴木勝幸議員が6月28日ご逝去されました。
ご冥福をお祈り致します。
享年62歳でした。



この「議会だより」がみなさまのお手元に届く頃は、きつと夏休みも始まり暑さと忙しさで過ごされていることと思います。

南伊豆町は七月三十一日で生誕五十周年の節目を迎え、南伊豆町議会も五月に誕生した新町政とともに、新しいまちづくりを目指して町政運営を始めたところです。

地方分権の進展により議会の権限は拡大し、審議対象は幅広いものとなっております。また、厳しい財政状況が続くなか、新たな自治の仕組みと時代に即した議会をどう構築していくかが課題であります。

したがって、一層の政策調査や立案機能を強化するとともに、行政執行へのチェック機能を向上させる必要があります。そのような状況の変化に対応できる議員各自の自覚と自己改革、ならびに議会体制の確立が求められます。

(ホ)